

第1回 認知症医療介護推進会議（H24.10.9）

日本医師会
三上裕司

日本医師会における認知症対応としての専門職の教育・育成に関する活動

○認知症サポート医養成研修事業について

- ・都道府県及び指定都市が実施主体である認知症サポート医養成研修事業について、研修委託先の独立行政法人国立長寿医療研究センターより、研修講師の派遣依頼を受け推薦する他、本会役員も講師として研修に参画するなど、事業実施に協力。
- ・各都道府県医師会へ、自治体と連携し当該事業への周知および協力を依頼。

○認知症サポート医フォローアップ研修

- ・都道府県医師会に、当該事業への協力を依頼。
- ・県医師会で行っている研修会へ講師として参画。

○かかりつけ医対応力向上研修

- ・都道府県医師会に、当該事業への協力を依頼。

○厚生労働省「新たな地域精神保険医療体制の構築に向けた検討チーム（第2R：認知症と精神科医療）」会議に委員として参画し、医師としての立場から、認知症施策へ提言。

○都道府県医師会や各ブロック医師会連合等の会合において、認知症対応の普及・啓発活動を実施。

○日本医師会機関誌「日本医師会雑誌」において認知症治療の特集

- ・「日本医師会雑誌第141号第3号」（平成24年6月1日発行）において、特集「認知症 update」として認知症診断・治療、医療連携等を取り上げた特集を組んだ。当該雑誌は日本医師会会員（医師）に送付しており、会員の教育・研修に努めている。

(主な内容)

認知症の疫学、予防、診断、画像診断、アルツハイマー病の病態と診断、非アルツハイマー型認知症の病態と診断、血管性認知症の病態と診断、脳神経外科疾患と認知症、薬物療法の実際とその効果、精神症状（BPSD）への対応、非薬物療法・ケア、医療ネットワーク 等

○日本医師会提供のテレビ番組「鳥越俊太郎 医療の現場」（BS 朝日：毎週土曜 18：00～18：30 放送）において、認知症関連のテーマを取り上げ、一般視聴者及び医療・福祉関係者等へ認知症に関する啓発活動を実施。

(放送実績)

- ・「認知症～介護を考える」（2010年9月4日放送）
- ・「増えるアルツハイマー型認知症～家族の心理と最新治療法に迫る～」
(2012年1月28日放送)

○日本医師会としては、地域における認知症対策の役割を担う存在としてのサポート医の活動に大きな期待を持っており、各地域医師会での役割や活動について、地域包括ケアの構築のための検討課題の一つとして、普及啓発のための議論を行っている。